ミライアル株式会社
2014年1月期　第1四半期決算説明資料

2013年6月 7日



ミライアル株式会社

目次

2014年1月期　第1四半期決算概要…… 2

2014年1月期業績予想…… 8

弊社を取り巻く業界環境…… 11

450mmシリコンウエハ容器の開発・製造…… 13

環境負荷低減に向けての取り組み…… 16

今後の経営戦略…… 18

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2014年1月期　第1四半期決算概要

1. 売上高/経常利益の比較

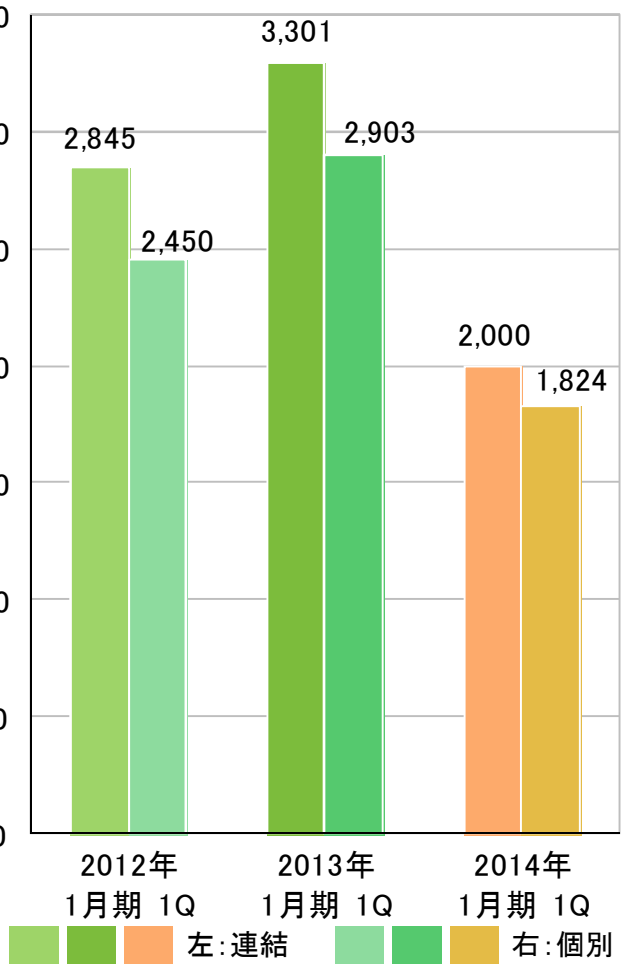
■ 売上高（連結）は、当社グループの主力事業であるプラスチック成形事業において、主な販売先である半導体業界は力強さを欠き、その影響を受け前年同期と比べ減収となりました。その結果前期比39.4%減の2,000百万円となりました。

■ 経常利益（個別）は、コスト削減を図りましたが、稼働率の低下、新製品である450mm関連製品における減価償却費等の負担増があり、減益となりました。

※個別において、連結子会社より受取配当金396百万円があり、連結においては相殺されています。

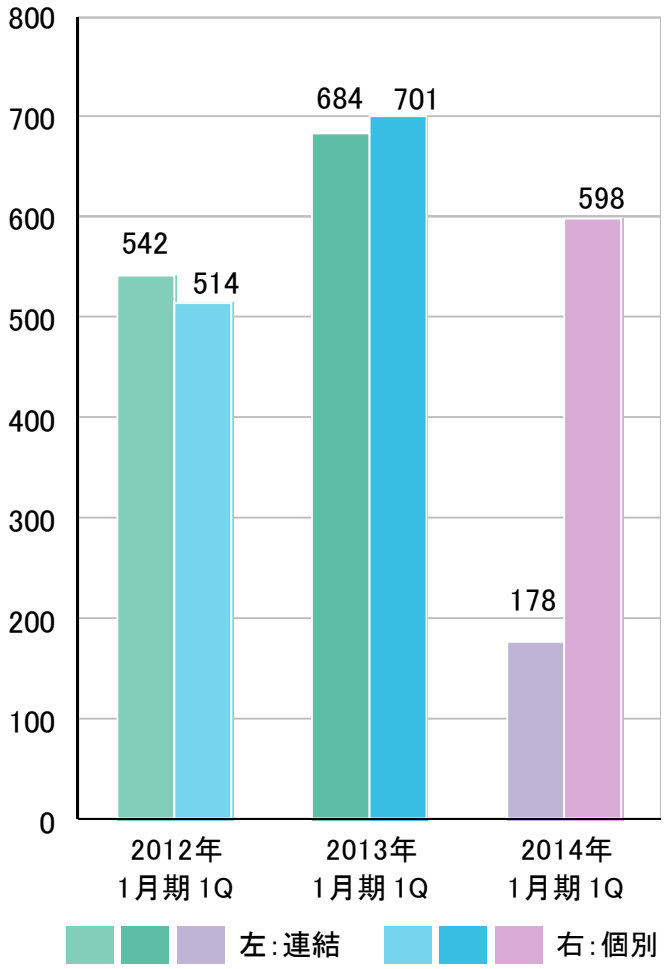
売上高

（単位：百万円）



経常利益

（単位：百万円）



Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 事業別売上高の比較

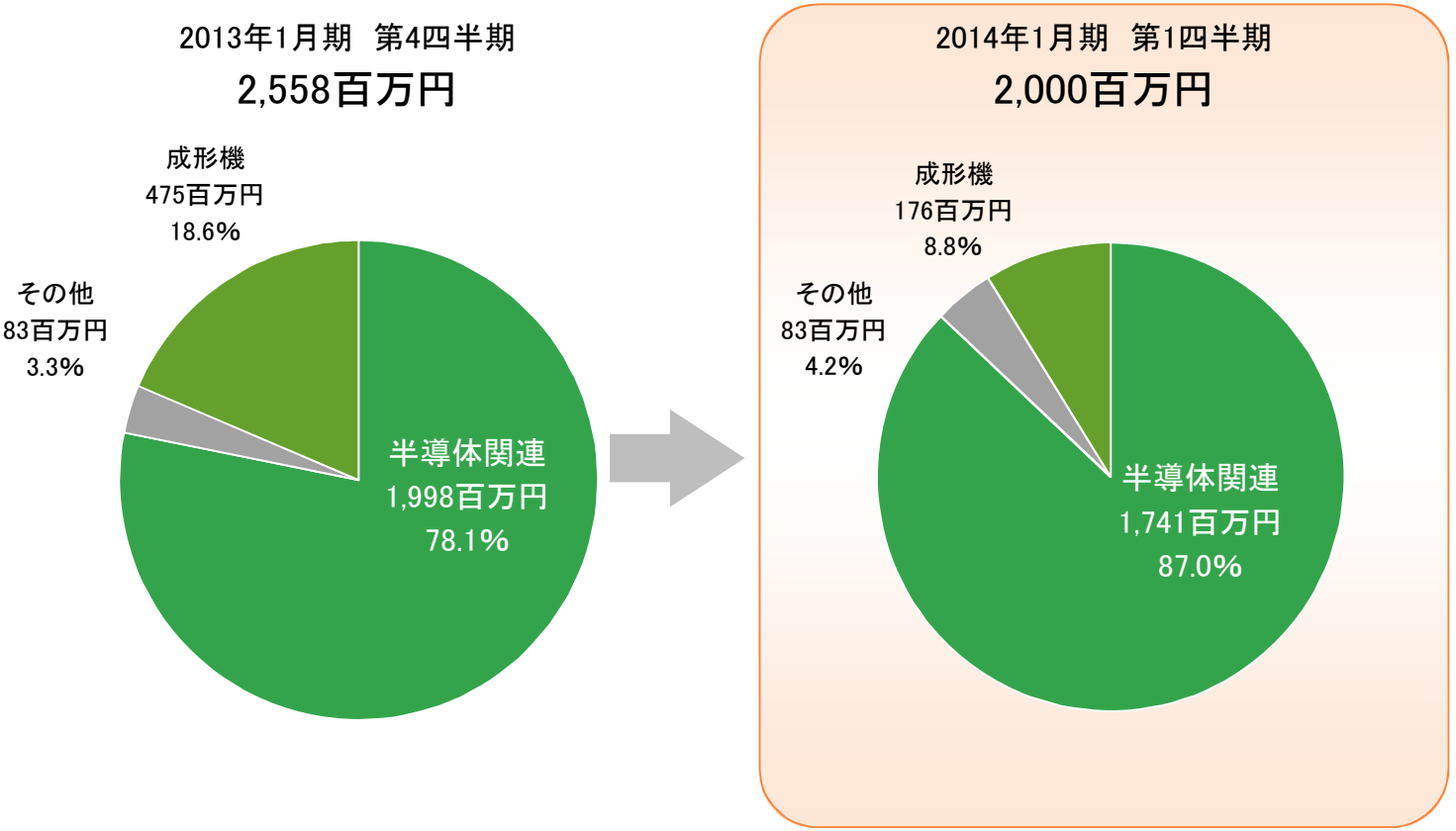
■ プラスチック成形事業

- 半導体関連事業は、主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」の前年度後半からの在庫調整局面が続いており、当四半期後半に回復の兆しが見えてきたものの、減収となりました。その結果、前4Q比12.9%減の17億41百万円となりました。
- その他事業については、前4Q比0.3%減の83百万円となりました。

■ 成形機事業

- 成形機事業は、当四半期後半では受注回復傾向がみられるものの、昨年後半からの受注減の影響から減収となりました。その結果、前4Q比62.9%減の1億76百万円となりました。

事業別売上高（連結）

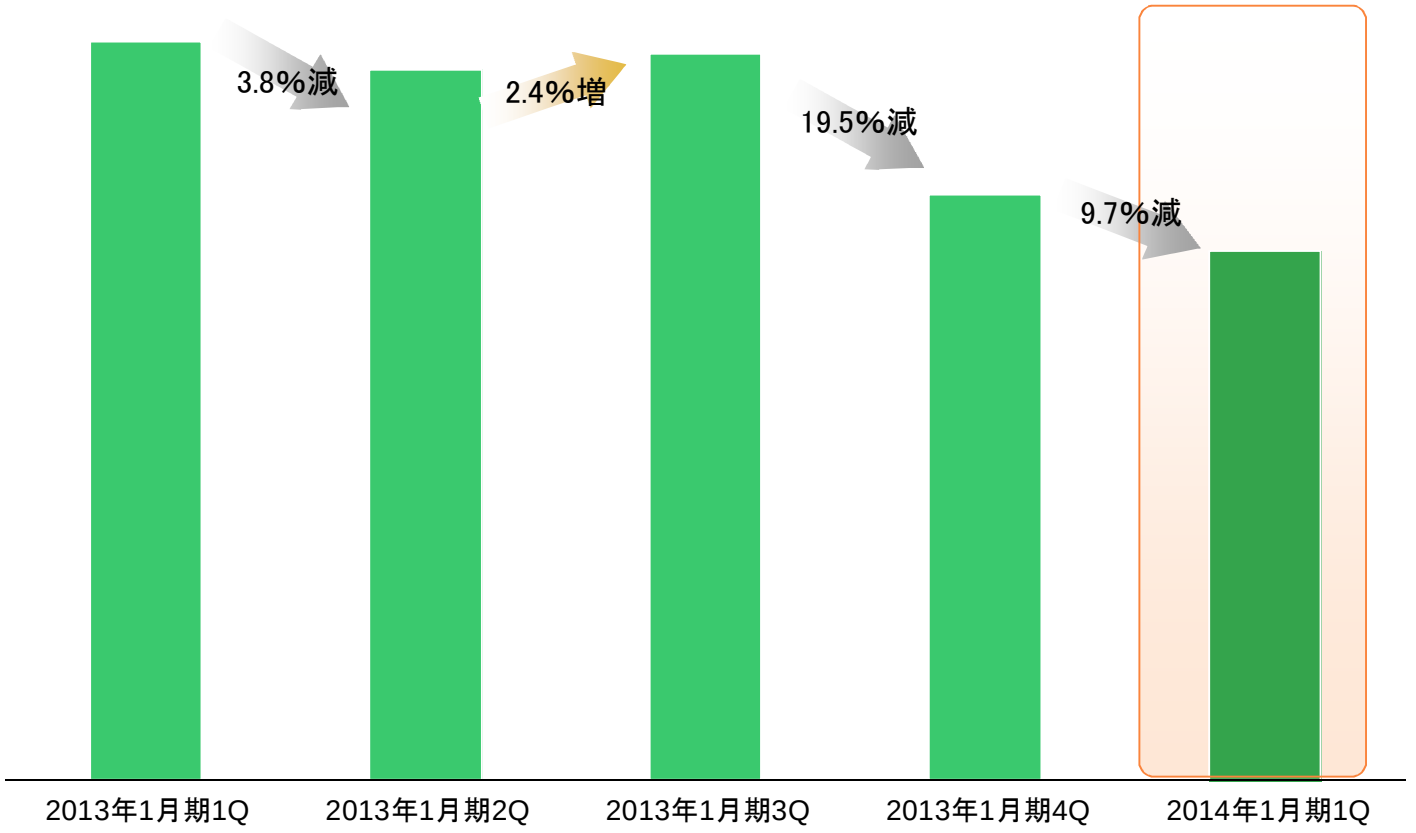


Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

3. 半導体関連事業の業績

- 出荷容器は、前4Q比9.7%減となりました。
- 工程内容器は、前4Q比45.0%減となりました。

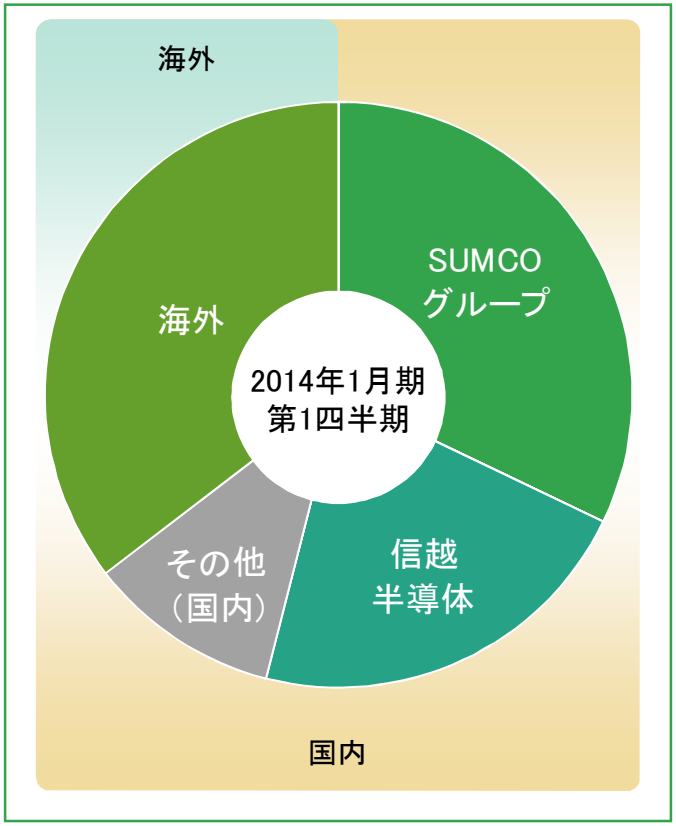
シリコンウエハ出荷容器　売上高の推移(四半期毎)

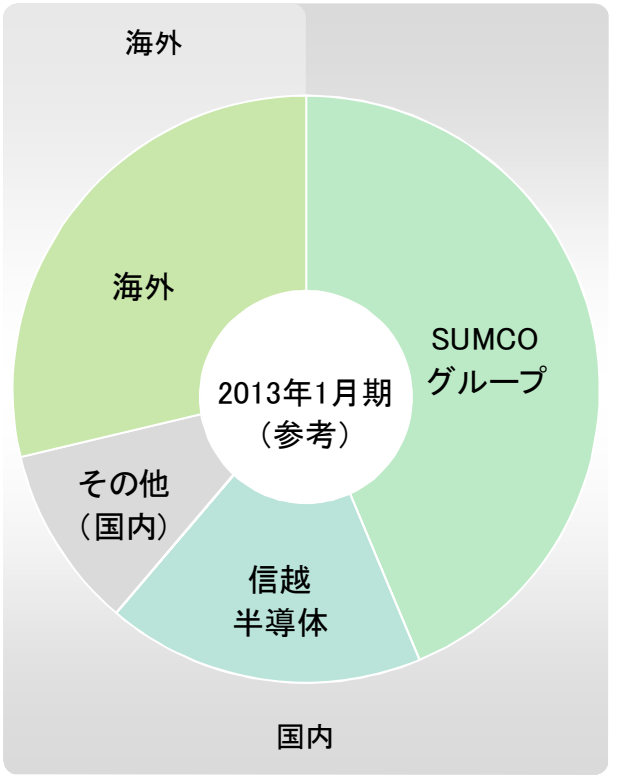


Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

4. FOSB出荷実績得意先別シェア

弊社FOSB出荷実績得意先別シェアの動向





Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.



5. 2014年1月期　第1四半期会計期間決算概要

連結業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第1四半期		2014年1月期 第1四半期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	3,301	16.0	2,000	△39.4
売上総利益	1,225	20.6	598	△51.2
営業利益	674	30.6	164	△75.6
(営業利益率)	20.4		8.2	
経常利益	684	26.0	178	△73.8
税引前当期純利益	601	19.9	178	△70.3
当期純利益	323	62.4	111	△65.4
設備投資	68		39	
減価償却	96		143	
純資産	16,321		16,837	
総資産	20,991		19,689	

個別業績

（単位：百万円・%）

	2013年1月期 第1四半期		2014年1月期 第1四半期	
	金額	前年同期増減率	金額	前年同期増減率
売上高	2,903	18.5	1,824	△37.2
売上総利益	1,101	24.5	553	△49.8
営業利益	697	34.5	192	△72.5
(営業利益率)	24.0		10.5	
経常利益	701	36.2	598	△14.6
税引前当期純利益	701	41.6	598	△14.6
当期純利益	415	42.0	532	28.0
設備投資	68		39	
減価償却	87		139	
純資産	16,134		16,855	
総資産	19,636		19,157	

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2014年1月期業績予想

1. 業績予想サマリー

売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には拡大を続けていく見通しです。
- 半導体業界の成長率は微増の予想にとどまり、品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- リユースについては、足下で全体の容器量の内、30%前後で推移していると予想しています。今後も同様で推移すると見込んでいます。

営業利益、経常利益

- 既存製品の設備投資は、合理化及び品質維持に要する設備投資に限定します。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

2. 業績予想

損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2013年1月期		2014年1月期(予)			
			2014年1月期 第2四半期累計		2014年1月期 第4四半期累計	
	金額	前期増減率	金額	前期増減率	金額	前期増減率
売上高	11,613	△2.1	4,900	△22.1	10,800	△7.0
営業利益	2,203	△4.0	540	△59.2	1,610	△26.9
経常利益	2,275	△8.1	590	△56.4	1,680	△26.2
(当期)純利益	1,430	6.1	340	△60.9	1,030	△28.0
設備投資	991	403.3	183	△48.0	400	△59.7
減価償却	536	12.8	301	54.9	620	15.5

事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2013年1月期			2014年1月期(予)					
				2014年1月期 第2四半期累計			2014年1月期 第4四半期累計		
	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率	金額	構成比	前期増減率
プラスチック成形事業	10,014	86.2	△1.0	4,230	86.3	△22.1	9,290	86.0	△7.2
半導体関連	9,624	82.9	△0.1	4,050	82.6	△22.1	8,920	82.6	△7.3
その他	390	3.4	△19.6	180	3.7	△21.6	370	3.4	△5.3
成形機事業	1,598	13.8	△8.5	670	13.7	△22.1	1,510	14.0	△5.6
合計	11,613	100.0	△2.1	4,900	100.0	△22.1	10,800	100.0	△7.0

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

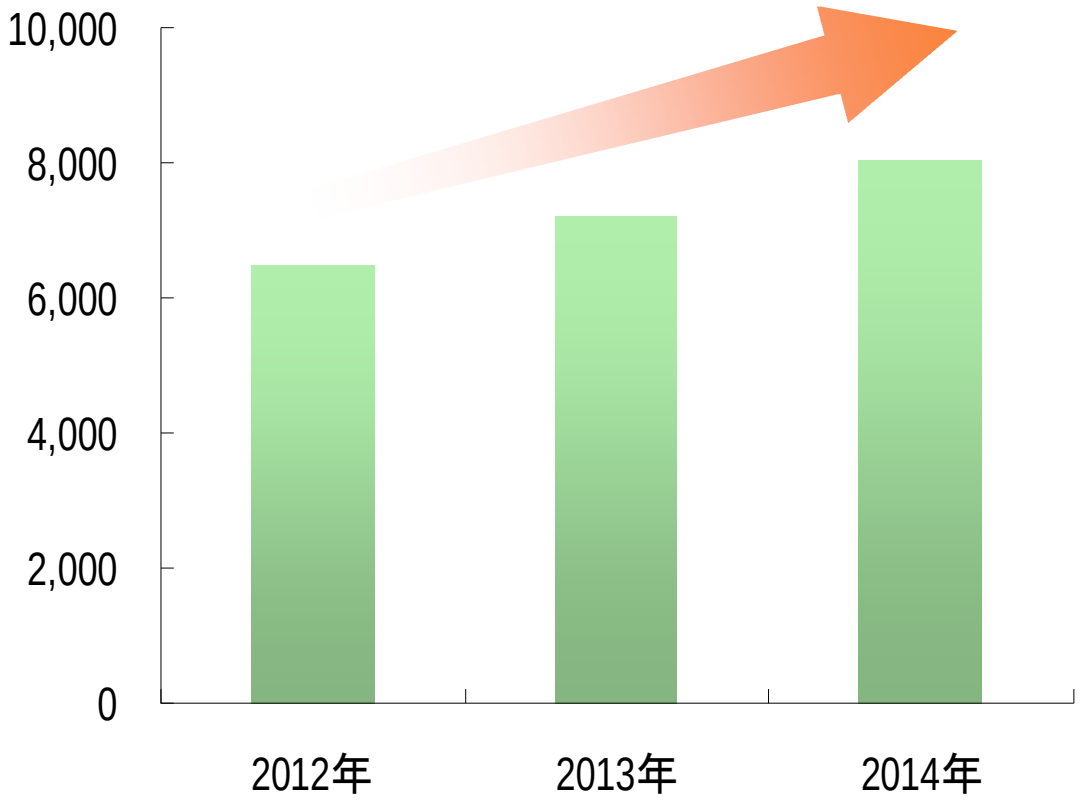
弊社を取り巻く業界環境

シリコンウエハ市場の動向

■ 弊社主力製品FOSBによって搬送される300㎜ウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。

■ また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。

300㎜シリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出所:弊社推測

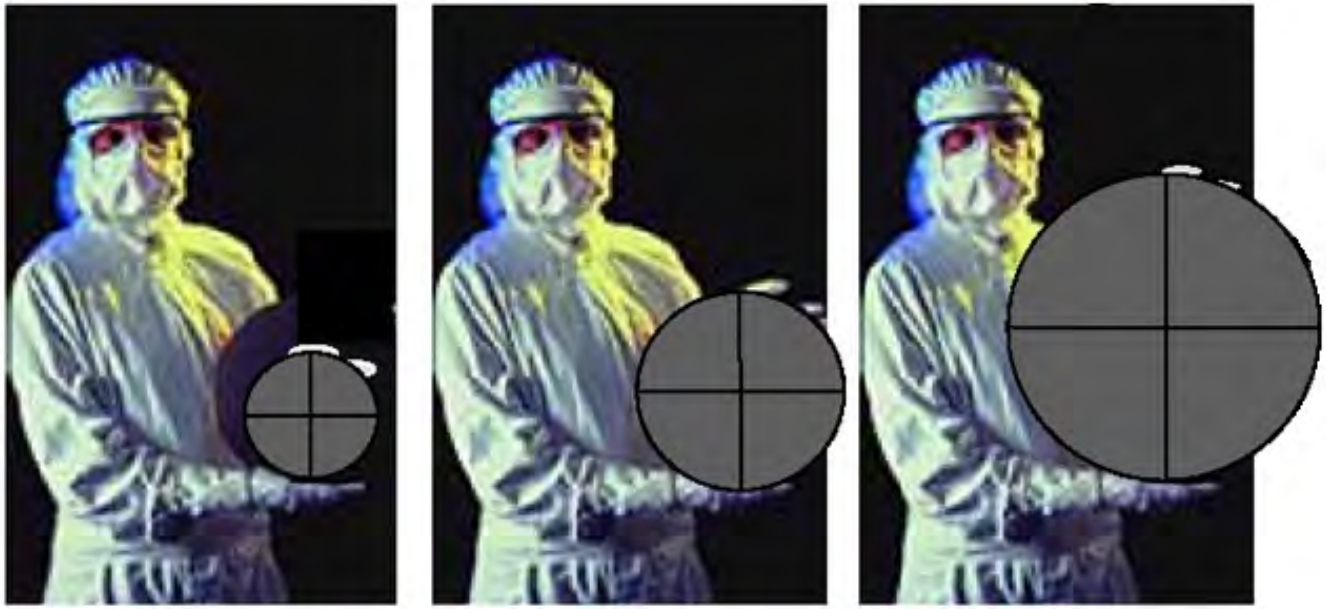
Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

450mmシリコンウエハ容器の開発・製造

1.シリコンウエハのロードマップ

・ミライアル製品のデファクトスタンダード化を実現し、
ポスト300mm戦略を優位に進める

・2012年サンプル出荷開始



200mm
1990年～

300mm
2001年～

450mm
2012年～

11年　11年

出典：当社推測

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

450mmシリコンウエハ用　容器開発

300mmFOSBのノウハウを最大限発揮し、
次世代の高機能ウエハに適用できる容器を開発



左：450mm容器　　右：300mmFOSB

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

環境負荷低減に向けての取り組み

メガソーラー設備の設置

住吉工場屋上にメガソーラー設備設置予定

■プラスチック成形メーカーとして環境負荷低減を目指す。

■1MWhソーラー発電

■今年秋　発電開始予定



Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

今後の経営戦略

基本方針

1.現存事業の安定利益源化

コスト削減の徹底と品質の造り込みにより、市場でのポジションを維持･向上させてまいります。

■プラスチック成形事業

当社コア技術を見直し新製品開発や販売チャネル拡大に活かすとともに、現主力製品300㎜FOSBと同様、次世代450㎜ウエハ容器においても覇権の獲得を目指してまいります。

■成形機事業

汎用機、LIM機、TF機を主力とし、特殊装置も視野に入れ拡販に取り組むとともに、竪型成形機の特長を活かした成形事業に挑戦してまいります。

2.新たな収益源の構築

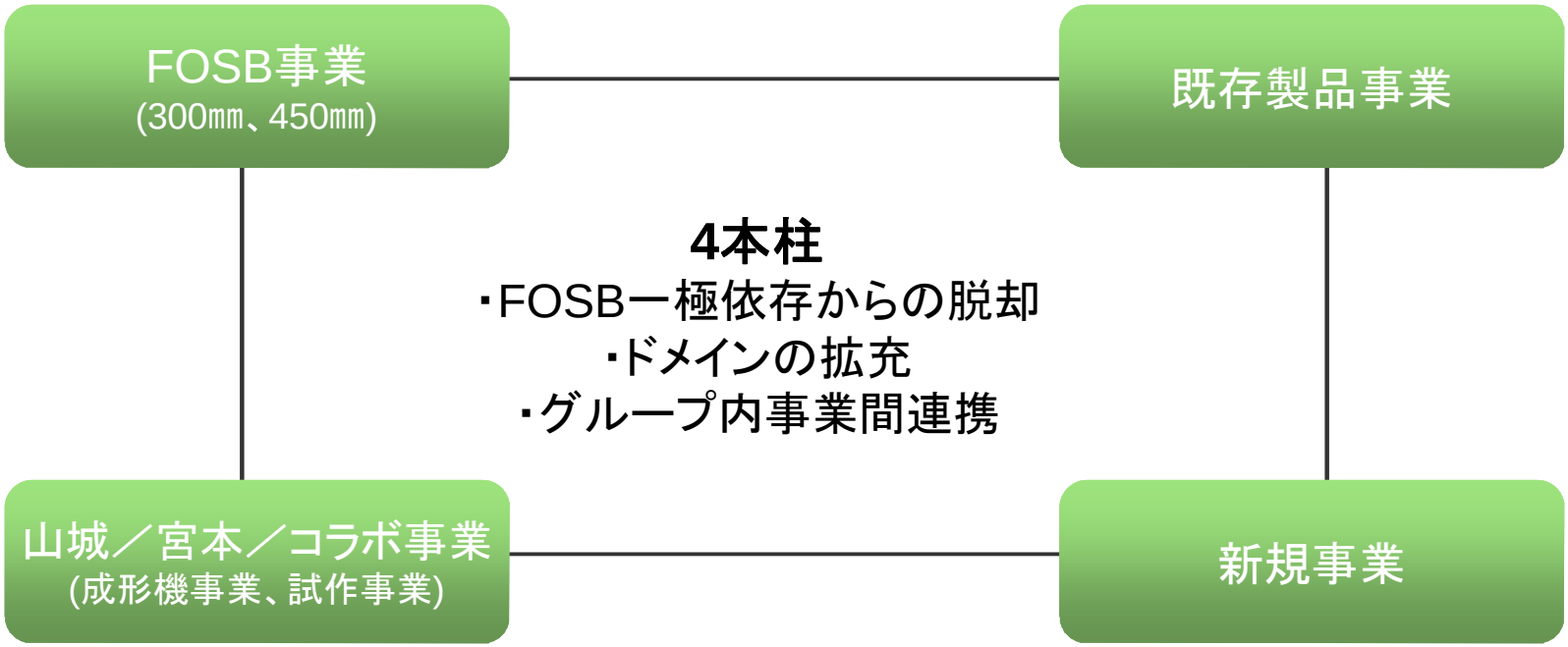
ミライアルグループのコア技術を活かした自社開発、M&Aや共同開発等、内外のリソースを有効的に活用し、新たな収益源となるべき新製品開発･新事業構築に取り組んでまいります。

3.グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組んでまいります。

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

ミライアルグループの目指す4本柱経営



現在、ミライアルグループは半導体関連製品事業に主軸を置いており、中でも300㎜FOSBを主力製品としております。また、次世代容器である450㎜FOSBに関しても、次世代の覇権を獲得すべく努めております。

このように、FOSBは弊社の大きな強みであり、同時に「FOSBに頼っている」という弱みでもあります。

こうした一極集中状態から脱却すべく、半導体業界の枠にとらわれない、グループの人的・物的資産を最大限に活かした新たな事業の展開に挑戦してまいります。また、既存事業においてコスト削減と品質向上による安定的な利益獲得を図り、新規事業挑戦への着実な土台を築いてまいります。

上記の経営目標を達成し、弊社の新たな時代を切り拓いていくステップとして、4本柱(FOSB事業、既存製品事業、山城／宮本／コラボ事業、新規事業)の機能化に取り組んでおります。

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.

本日はありがとうございました

「ミライアルの未来」

明日に向かって

「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社　経理部

電話：03-3986-3782　FAX：03-3986-3853　E-Mail：investor_relations-m@miraial.co.jp

＜将来見通し等に関する注意事項＞

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

Copyright : 2013© Miraial Co., Ltd. All Rights Reserved.